

！市民のわ

フレッシュさん

このコーナーでは、まちのフレッシュさんをリレー方式で紹介します。石田さんは前回の中西さんの紹介です。

「民宿を継ぐ若い人は少ない。自分がんばることで、能登島を少しでも元気にしたい」。そう話す石田さんは、『人情の宿 山水荘』のマスターとしての顔を持つ。金沢の料亭で修行を積み、父親が亡くなったこともあり、ふるさとの能登島へ。お客さんと親しくふれあえ、人生を楽しめる場だと確信し、跡を継ぐ決意をした。釣り船の船頭やイルカウォッチングのガイドを務め、自ら漁にも出かける。「魚はもちろん米や野菜なども自家製のものにこだわっているし、これからもこだわりたい。職人の中で育ってきたので、いい意味でがんこでいたい」と苦笑いを浮かべる。人とのつながりを大切にしながら、味と人情にこだわろう。『人情の宿 山水荘』は来年改築予定とのこと。



いしだ なおと 石田 直人さん
(27歳・能登島祖母ヶ浦町)

出身地 日本各地



このコーナーでは、県外から市内へ転入された方の声を紹介します。

思えば 遠くへ 来たもんだ



はま ひろかず 濱 博一さん
(50歳・東浜町)

最初に「出身は？」と聞くと「難しいことを聞きますねえ。父親の勤務の関係で、大学卒業までに生活した都市は9都市。七尾が10都市目。そこから濱さんのいろいろな話に花が咲く。」
「日本の三名山って知ってる？富士山、白山、立山だよ」と教えてくれ、「この三名山が見えるところで生活した場所が人生のポイントとなっている。富士山が見える静岡で生まれ、白山は金沢で大学生活。そこで奥さんと知り合い学生結婚。今住む東浜町は立山が一望できる場所で家族と生活。まさに人生のポイントになってない？」と話す。

また、「能登の人は水飴」とも話す。「最初は飴が甘いように優しいが、物事が進むにつれ動かなくなる。うまく付き合う秘訣は信用が大事。今では人々の暮らしの匂いを感じる七尾が大好きな故郷。」
37歳のときに金沢でまちづくりに関係する会社を立ち上げ、今では講演などで全国へ飛び回る活躍ぶり。【毎日が熱中】をモットーに大望を抱く話をする濱さんが印象的だった。

協働のまちづくり 市民会議スタート



七尾市長
武元文平

「まちづくり基本条例」をつくる市民会議は、市民が主役のまちづくりを進めるための基本的な理念や市政運営の仕組みを定める条例づくりをするものです。

人口減少、少子高齢化が進み、市民の幸せや健康づくり、介護、医療がますます重要になってきた。市民が安心して生活していくためには、これまで以上に多様な公共サービスが求められているが、これらの要望をすべて市役所が行うことはできない。

時代は今「地方のことは地方で考え、地方で責任をもってまちづくりを」(地域主権)という方向に動いている。これは地方に権限が来るということより、地方が国に補助や支援を求めても「国は面倒をみませんよ」ということだ。親が成人した息子に「もう自分で独立せい!」ということと同じで、地方は経済的にも精神的にも自立しなければならないということだ。

国も地方も大きな借金を抱え、経済の低迷で税収は減り、これまでのような成長が見込めない状況の中で、どのように市民生活を安定させ、地域の将来を確かなものにしていくのか。地方の生き残りをかけた地域間競争がますます激しくなる。

この難局にどのように対応し、どんなまちづくりをするのか。これまでのまちづくりや市民サービスは、市民が市役所や議員に陳情要望し、市民はその対応を待つという、言わばおまかせの民主主義で、市民は観客のような存在だった。でも、これからは市役所や議員に要望するだけでは良いまちづくりはできない。いろいろな知恵や力を持った市民に地域の活動や市政の運営に参画してもらい、行政と市民や事業者が協働でまちづくりを進めなければならない。納税者でもある市民が税金の使い方や職員の仕事の仕方、事業の評価など行政の仕事に参画していただくということだ。

協働のまちづくりを進めるために、市民参加や協働の仕組み、市民の役割、権利や義務、行政の役割、責任などのルールを定めるのが「まちづくり基本条例」です。新しいまちづくりを進めるために、多くの市民の意見や声をお待ちしています。

市長へのメール「前略、市長さん」(<http://www.city.nanao.lg.jp/shicho/>)では、市民のみなさんから市長へのご意見・ご質問などをお待ちしています。

市政への思いやアイデア をお聞かせください!

①まちづくりに関すること、②生活環境に関することなど前向きなアイデアをお聞かせください。(個人・グループどちらでも可。1組30分以内)

●12月22日(水) 15:00～17:00
会場：能登島市民センター 1階応接室

●1月18日(火) 15:00～17:00
会場：七尾市役所 1階102会議室

※申し込みは1週間前まで(公務により中止になる場合あり)

問・申 市民男女協働課 ☎53-8633

広がれ

このコーナーでは、市内のクラブ活動やサークル活動などを紹介します。



七尾市緑ヶ丘町内会みどり会

(会長 杉本辰二さん)



循環型社会形成推進功労者環境大臣表彰受賞

今では、どの地域でも行っているリサイクル活動。緑ヶ丘町内会みどり会は、市内でもいち早くリサイクル活動に取り組む。また、最近、七尾市が推奨している循環型社会形成活動(廃棄物の発生抑制・再使用・再生利用)にも取り組み、長年の活動実績から環境大臣表彰を受賞した。

緑ヶ丘町内会みどり会は、旧老人会から名称を変更し、60歳から84歳の人たちで会員は54人。毎月1回の資源ごみ収集日に集積所で朝5時から9時までの間、分別やごみ減量活動に取り組んでいる。

また、地域に住む高齢者に声を掛け合い、コミュニケーションやお互いの安否確認を行ったり、子どもたちにもごみ分別方法を指導し、世代間交流も行ったりしている。今年8月からは、廃食用油の回収にも取り組み、模範的な地域づくりに努めている。

また、リサイクル活動だけではなく、会での親睦(フレッシュ教室、世代間交流教室など)も活発に実施しており会員同士のコミュニケーションも欠かさない。この活動が町内の和の原動力となっていることは間違いない。